

旭市がザンビア共和国のホストタウンに

市と事前キャンプに関する覚書を交わした

ザンビア共和国が2月28日、

東京2020オリンピック競技大会ホストタウンの

相手国として追加登録されました。

これまでの経緯

昨年6月にザンビア共和国が、事前キャンプ地を千葉県内で探

していたことから、市はザンビア共和国大使館を訪問し、市内の施設状況や魅力を説明しまし

ホストタウンとは

その後ザンビア共和国オリンピック委員会委員長、副委員長などによる市内視察が行われ、1月15日にはザンビア共和国の駐日特命全権大使立ち会いの下、事前キャンプに関する覚書の締結が行われました。

オリンピック開催を機に、世界中から多くの選手や観客などが日本に訪れます。大会終了後もスポーツ立国、グローバル化、地域の活性化、観光振興などを推進するとともに、事前キャンプの誘致を通じて、大会参加国や地域との人や経済、文化の相互交流を図ることを目的とした国の制度です。

事前キャンプ

大会終了後もスポーツだけでなく、文化や観光などで交流を図り、ザンビア共和国との永い交流が行われます。

事前キャンプが行われる予定の競技／陸上、ボクシング、柔道、競泳、女子サッカー

事前キャンプの期間／大会前の1か月程度を予定

問い合わせ先

体育振興課体育振興班

☎ 64・1132

ザンビア共和国ってどんな国？



ザンビア共和国はアフリカ大陸南部の内陸に位置し、多様な野生動物と多くの国立公園があります。イギリスのエコノミスト・インテリジェンス・ユニットが発表した、2019年の世界平和度指数ランキングでは、163か国中48位とアフリカで最も平和な国の一つとして評価されています。産業は農業が盛んで、ビクトリアの滝に代表される観光も人気です。

■ザンビア共和国の基礎データ

人口／約1,735万人(2018年現在)

首都／ルサカ

面積／752.61km²

公用語／英語



世界三大瀑布のビクトリアの滝

ホストタウンとしての今後の活動

ザンビア共和国オリンピック選手団の事前キャンプ受け入れに際して、選手団を迎える歓迎



覚書の締結式でのザンビア共和国駐日特命全権大使と関係者